

奈良県立五條高等学校 令和2年度 第1回学校運営協議会

- 1 日 時 令和2年5月27日(水) 15時30分～16時40分
- 2 場 所 奈良県立五條高等学校 大会議室
- 3 参加者 (委員) 養田全康 米田正人 宮倉靖幸 石井和弘 柳澤佳孝 熊代敬三 下村卓
尾崎和弘 高崎隆一 上西秀樹 中井基雄 (本校校長)
(事務局) 松田雅彦 (全日制教頭) 東達也 (全日制・定時制教頭)
石澤竜義 (分校教頭) 久保哲宏 (事務長) 田中鈴子 (全日制総務部長)
左川正太郎 (全日制教務部長) 奥村洋 (全日制生徒指導部長)
吉村典久 (全日制進路指導部長) 澤一彦 (全日制広報企画部長)
辻内一浩 (定時制教務部長) 辻本和正 (定時制生徒指導部長)
扇野鶴城 (分校教務部長) 山口敦弘 (分校生徒指導部長)

4 内 容

- (1) 校長あいさつ
- (2) 委員紹介
- (3) 会長あいさつ
- (4) 議案

*本年度学校運営に関する基本的な方針と重点目標について事務局(全日制教頭、定時制教頭、分校教頭)より説明。

(意見・質問)

- ・高崎隆一委員
小学生への「走り方教室」で五條高校の陸上競技部員に教えてもらう機会があったが、皆さわやかで好感が持てた。お礼を申し上げたい。小学校の運動会でも毎年五條高校生にお手伝いいただいている。引き続きお願いしたい。
- ・上西秀樹委員
校長をしている五條東中学校から五條高校の全ての課程に進学しているが、「五條高校に行ってよかった」という声をよく聞く。分校が五條市立になり、定時制がなくなっていくのは寂しい。
- ・養田全康委員
本校では、昨年出願者が募集定員に満たない状況であったが、それに対しどのような取り組みをされているか。
- ・中井基雄(本校校長)
市内の中学校から毎年4割程度の卒業生に来ていただいているが、少子化の影響でその数が減っている。現在の7クラス規模を維持するためには、本校の魅力を発信し、他市から多く来ていただく必要がある。
- ・石井和弘委員
新型コロナウイルスへの対応から、パソコンの普及率が大切だと考える。普及率が低いと都会の生徒との学力差が開くのではないかと懸念する。
- ・中井基雄(本校校長)
本校は、商業科があることもあり、2室ある情報室や商業実践室、各教室のPCやモニターなど県下でも指折りのICTの設備がある。動画授業を見ることができない生徒が全校で20名程度いたが、DVDを作って届けた。また、授業で使うipadも、同窓会のご協力をいただき、1クラスの生徒が全員使える数に揃えていただく予定。
- ・柳澤佳孝委員
賀名生分校の実習生を受け入れているが、実習前に学校で実習に向けた指導をお願いしたい。
- ・中井基雄(本校校長)
地域でお世話になっている農家の方々の迷惑にならないよう、一定期間コミュニケーション力や一般常識を身につけさせる指導をしてから実習させるようにしたい。
- ・尾崎和弘委員

五條市教育委員会では来年度開校する五條市立西吉野農業高校の開校準備を進めている。これまでの賀名生分校の取り組みを継承しながら、地元農家の方々との協働し、農家後継者の育成を目指して取り組んでいきたい。そのために、農家の皆様と市との密なるコミュニケーションや情報交換に努めていきたい。

・宮倉靖幸委員

素晴らしい取り組みをされていると感じている。グランドデザインに、「安心して通える（通わせる）ことができる学校づくり」とあるが、メディアでもいじめの問題がよく取り上げられる昨今、どのような取り組みをされているか。

・奥村洋（全日制生徒指導部長）

県の指針に従い、年4回のアンケート調査を行っている。まずはいじめを把握しやすい状況をつくり、素早く対応することを心掛けている。ケースによっては全校体制で対応し、スクールカウンセラーに協力いただくこともある。問題が解決したと考えられる場合も、その後継続して生徒の状況を観察し、いじめを許さない取り組みを進めている。

・熊代敬三委員

賀名生分校の実習生を受け入れて3年目になるが、先ほど柳澤委員からもあったように、最初はコミュニケーションがうまく取れない生徒も多い。そういった力をつけてから実習に来させてほしい。また、市には農家との連携をしっかりしていただくようお願いしたい。

・米田正人委員

昨年定時制の生徒1名の実習を自分の農園で受け入れた。はじめはコミュニケーションをとるのに苦労したが、あいさつができるようになり、意欲を持つようになってくれたのではないか。コミュニケーション能力に欠け、意欲を持ってない生徒を長い目で見て育てるという視点も必要ではないか。高校が最終学歴になる生徒もおり、帰ってきて相談できるというのも学校の使命であると考えます。

・下村卓委員

同窓会として、今後も五條高校の教育にできるだけ協力していきたい。

○本年度学校運営に関する基本的な方針と重点目標について、全員一致で承認。

(5) その他

本年度の予定について

6月22日（月）	第1回全日制部会開催
7月16日（木）	第1回賀名生分校部会開催
9月17日（木）	第1回定時制部会開催
12月9日（水）	第2回定時制部会開催
12月21日（月）	第2回賀名生分校部会開催
1月22日（金）	第2回全日制部会開催
3月2日（火）	第2回学校運営協議会開催

学校評価について

- ・今後のスケジュールとして、生徒、保護者、教員に対するアンケート結果をうけて学年末の評価を行ったものを、3月の第2回学校運営協議会において報告し、承認を受ける予定。

(8) 校長あいさつ

お忙しい中長時間ありがとうございました。本日頂いたご提言を全日制、定時制、分校すべての課程において、今後の教育に生かしていきたい。本校は、地域とともにある学校として、全ての課程が地域に支えられている。昨年も生徒たちは地域の様々な行事に参加させていただいた。今後も必要があればお申し出頂きたい。「魅力ある学校づくり」に向け、人の確保が課題であると考えます。全ての課程で、生徒は落ち着いて学習に取り組んでおり、募集にもっと力を入れていきたい。賀名生分校は、来年度から五條市立となるが、これからも農家の方々にお世話になっているということを忘れず、卒業後も五條市に残って農業を担う生徒を育てていきたい。今後もこういった場だけではなく、普段からご意見をいただきたい。

